

4番 小野勇治 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 胃がん対策について	<p>日本人の昨年の死因の第1位は「がん」でした。中でも胃がんは、肺がんに次いで多くなっています。早期発見や、リスクを下げる取組が必要と考える。</p> <p>① 本市における胃がんの実態について、死亡者数や死亡原因としての順位及びその推移について。</p> <p>② 本市の胃がんの受診率（2次受診も含めて）とその推移について。</p> <p>③ 胃がんの主要原因といわれるピロリ菌の市の見解を伺う。また、対策にどう取り組むか。</p>	市長 市病院事業管理者	①②③ 市長 ③市病院事業管理者
2 高齢者の「食育」について	<p>本市の高齢化率は40%に迫る現状です。そういった中、健康的な生活を送るために、自治体として医療や介護を必要とする高齢者を減らしていくことは、重要なことです。</p> <p>① 高齢者健康寿命を延ばすため、筋力や身体機能の低下につながる低栄養についての認識を伺う。</p> <p>② 本市の高齢者の食育に対する特徴ある取組は。</p> <p>③ 食育アドバイザーの現状は。</p> <p>④ 今後、高齢者の「食育」に対する取組方針は。</p>	市長	市民生活課長

1番 工藤友生 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 生産年齢人口の減少と定住促進について	<p>① 豊後大野市の生産年齢人口は、今後どのように推移していくと把握しているのか伺う。</p> <p>② 生産年齢人口の減少により、どのような課題が生じると予測しているのか。また、それらの課題に対応するためにどのような施策が必要だと考えているのか伺う。</p> <p>③ 現在取り組んでいる定住促進事業により、どれぐらいの定住促進が期待されるのか伺う。</p> <p>④ 新たな定住促進事業の導入について等、今後の展望を伺う。</p>	市長	市長
2 鳥獣被害対策について	<p>① 鳥獣保護法の一部改正は市の鳥獣被害対策にどのような影響があるのか伺う。</p> <p>② 鳥獣の捕獲等に携わる方々の減少、高齢化への対応を伺う。</p> <p>③ 鳥獣被害対策実施隊の活動状況を伺う。</p>	市長	農林整備課長

16番 衛藤正宏 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 行財政改革について	財政改革の進捗状況と一本算定の減額による今後の財政見通しを問う。	市長	市長
2 職員力の向上について	市民生活向上の達成に向けて、将来にわたって本市を支える「職員力」について伺う。	市長	総務課長

18番 宮成昭義 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 人口減対策について	<p>平成27年度は、合併後満10年で、合併時の人口は43,278人、本年10月末現在では38,748人であり、4,530人の人口減で、合併時のある町の人口に匹敵する人口減であります。</p> <p>高齢化率においても33.9%から39.1%となる中で、世帯数は222世帯増加しており、核家族化や高齢者の独り暮らしが進行している現実を直視し、平成27年度予算編成時期に当たり、人口減対策に取り組むべきであると考えているが、その対策、考えについて伺う。</p>	市長	市長
2 介護保険における保険料と給付費との適正化の進捗状況について	<p>① 平成27年度から第6期の介護保険料の改定がなされるが、第5期での高額保険料等を鑑み、第6期での介護保険料の抑制対策をなすべきであると考えているが、その抑制対策について伺う。</p> <p>② 介護保険における給付適正化の進捗状況では、平成24年度から平成29年度の適正化期間を通じ、平成27年度以降の給付費を60億円を超えないとされているが、目標が達成されるのか、その事業等の進捗状況を伺う。</p>	市長	高齢者福祉課長
3 市営太陽光発電事業の発電及び売電状況等について	<p>平成24年7月から国において再生可能エネルギーの固定価格買取制度が始まり、豊後大野市は直営で太陽光発電事業に取り組み、本年度から発電及び売電が開始されている。</p> <p>本市における太陽光発電事業での発電や売電の状況はどのような状況下にあるのか伺う。</p>	市長	環境衛生課長

13番 佐藤徳宣 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 個人情報保護法と行政の対応について	① 個人情報保護法と豊後大野市個人情報保護条例の成立経過は。 ② 豊後大野市や市民に与えるメリットとデメリットは。 ③ 行政から見て、この法律、条例によって地域のコミュニケーションは施行前に比べ、どのように変化したのかを伺う。 ④ 先日の大分合同新聞に掲載された、大分県教職員組合の個人情報保護条例違反は具体的にどのような事件か、またこの問題点を伺う。 ⑤ 行政と市民（個人）の間に、この法律、条例の考え方に対するそごがあるのではないかと、双方とも極端な拡大解釈でモンスター化し、お互いに困っていることはないかと伺う。	市長 教育委員長	①②③⑤ 市長 ④教育長
2 市内建設業者の受注と経営状況、市職員の実地研修について	① 平成25年度市の発注する工事の総額に対して、市内業者の受注率は。また落札金額の入札減は総額どれくらいか。平均して1件当たりはいくらか伺う。 ② 市内建設業者の提出する経営審査事項で見た時に、経営状態はどういう状況か。 ③ 市の発注する工事の単価について適正に執行されているか、また単価決定時の市場単価の採用の問題点はないかと伺う。 ④ 合併時に比べ、相当数の市内建設業者が減っているが、実数はどうなっているのかを伺う。 ⑤ 市の土木・建築・農業土木の技術職員に経験を積ませるため、採用後少なくとも3年は、施工管理や施工技術を修得するために、優秀な建設会社へ出向させて実地研修を積ませてはどうか。	市長	①②④ 財政課長 ③ 建設課長 ⑤ 総務課長

6番 朝倉秀康 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 どうなった地方創生への対応は	<p>先の9月議会中（9月5日）、突如として安倍総理は内閣改造を発表して地方創生を国策として最優先に取り組むとの声明を出した。この時、タイミング的に、私は本件に対し質問の最中でした。そこで、いち早く本市として対応すべきだと質問を追加した経緯があり、国もその後いろんな人が立場上の見解を述べているが、10月23日の大分合同新聞に「地方創生で5原則 石破茂氏 自治体の実情に配慮」と掲載されていた。</p> <p>いずれにしても、自治体に合ったアイデアに対し国は対応しようと待ち構えていると推察できる。そこで、本市の対応策について伺う。</p> <p>① この事業に対しての組織づくり（チームづくり）は。</p> <p>② 地方にあったアイデアを活用するとの政府の方針のようですが、アイデア募集の対策は。</p> <p>③ 今後どのように、この事業を活用しようとしているのか。その展望を伺う。</p>	市長	市長
2 都会から人の波を無人駅朝地へ	<p>人影もまばらで寂れ感を味わっていた朝地駅は、九州オルレ奥豊後コースの導入により、国内外から自然そのものの原風景を求め、既に1万人を超えて訪れている。そこで、さらなるステップアップを図ろうと、ぶんご大野里の旅公社と朝地あそび会が地域の皆さんの御協力をお願いしながら、無人駅朝地を前面にかかげ、手つかずの自然の大地を遊び心で楽しめる里歩き道を、新たに開設して多くの自然愛好者に来ていただくよう計画しています。これも地域の過疎対策の一つにもなり、また市の活性化にもつながると考えるが、市としての見解を伺う。</p> <p>① 秘境、国の天然記念物「蝙蝠滝」ルートの開拓。</p> <p>② 朝倉文夫記念館ルートの開拓。</p> <p>③ 緒方町小富士大久保から「蝙蝠滝」が一望できる展望台の設置を。</p> <p>④ 年次計画でも蝙蝠滝につり橋をかけ、朝地・緒方ルートの開拓を。</p>	市長	商工観光課長
3 県道池田大原線の早期開通を	<p>先の6月議会でも伺いましたが県道池田大原線（675号）は国道57号と国道442号まで直結できるのに残すところ1,000mです。この2本の国道が直結出来たときの成果として、久住、直入、朝地（北地区）～大野・千歳・犬飼・三重・臼杵～県南へと一直線に結ばれる。進む過疎化の今日、進めば進むほど隠れた地域の主要幹線道となりま</p>	市長	建設課長

	<p>す。緊急時の対応にも、多大な効力が発揮できる。</p> <p>また、先で行われた大分アジア彫刻展でも貸切りバスがどんどん通れるようになり、用地買収もほぼ終わっていることから残す1,000mであれば、20億円かかっても、これは早急につなぐべきだよと多くの方々から県へ要請すべきと言われていいます。</p> <p>そこで、あまりにももったいない話なので県へ早急に工事にかかるよう要請すべきと考えるが。</p>		
--	---	--	--

9番 衛藤竜哉 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
<p>1 交通安全の意識の向上について</p>	<p>春、夏、秋、冬の全国交通安全週間といった全国一斉の運動が毎年行われていますが、交通死亡事故の件数や高齢者や子どもが巻き込まれる事故等が豊後大野市管内で少なからず、起こっていることは皆さん承知のことでしょう。</p> <p>豊後大野市交通安全協会を中心に、各支部、各分会、女性ドライバー協議会等の活発な組織活動を行い、日夜、交差点や子どもたちの通学路、交通量の多い沿線での声かけ等のボランティア活動をしていただいています。市の交通事故数は年々増えつつあるし、県下でも、いつも上位にあると聞いていますが実態はどのような状況でしょうか。</p> <p>市の補助金も130万円程度と、このような活動を全市的に行っているのに、一律カットとは本当にそれで良いのでしょうか。それぞれの支部、分会での活動に若者が少ないのも気になります。</p> <p>県、市の交通安全協会とともに啓発活動を更に推進するために何が必要と考えているのかを伺う。</p>	市長	市長
<p>2 将来の学校適正配置を検討すべきではないか。</p>	<p>ケーブルテレビで市内の小、中学校の運動会、体育祭の子どもたちの元気あふれる競技の様子、真剣な表情等がすごく印象的でした。</p> <p>ただ、中学校の体育祭に関しては、人数の少なさから逆に寂しさを感じるのは私だけでしょうか。市内の中学校のうち、三重中学校以外は120人を切り、学校によっては50人から60人ほどの生徒数で行っている。仕方ないので、これでいいのでしょうか。</p> <p>学校での社会体育は学習面からいっても、重要ではないのかもしれないが、子どもたちにしてみれば、学校生活で唯一汗を流し、ストレスを発散できるものではないでしょうか。全員の生徒がそうとは限りませんが、大事なことだと感じます。</p> <p>学校区の見直し、市内全域一学校区の採用、手続の簡素化等、教育委員、教育審議会の検討の中に、早急に協議すべき重要なことで、その時だと私は思うのですが、考えを伺いたいと思います。</p>	教育委員長	教育長

2番 川野優治 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 公務員の政治的中立性について	地方公務員は、地方公務員法第30条でサービスの根本基準、第36条で政治的行為の制限が規定されているが、本市における職員の中立性について伺う。	市長	市長
2 メガソーラーに対する規制の要否について	再生可能エネルギーの固定価格買取制度の導入から2年が経過し、本市においてもメガソーラーが至る所で見られるようになりましたが、思わぬ被害や問題が生じています。例えば、①雨水の排水が住宅に流れ込んだ、②建設用の車両が里道を壊した、③市の調和ある発展の観点からは宅地にすべき土地にメガソーラーが建てられているなど、これらの被害や問題に対処するため、メガソーラーの建設に何らかの規制を加えるべきと思うが、市の見解を伺う。	市長	環境衛生課長

12月8日（月）

5番 内田俊和 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 農業振興計画の課題について	<p>① 農業就農者の動向の変化は。</p> <p>② 今日農業収入の展望が期待できるのか。</p> <p>ア 日本型直接支払制度について</p> <p>イ 農地中間管理機構について</p> <p>ウ 米価の低価格について</p> <p>エ 営農指導について</p> <p>③ 鳥獣被害対策について</p> <p>④ 畜産振興について</p> <p>以上の項目について、現状はどうなっているでしょうか。</p>	市長	市長

20番 渡辺一文 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 小中学校の通学路について	<p>緒方町では、数年前、小学校の統合が問題となり、上年野自治区、辻自治区は4、5km以内ということで、自転車通学とのことになりました。そこで、通学路を作りましょうとの話で決着したのですが、現在はまだ気配はみえてきません。</p> <p>朝地町、犬飼町、大野町の各町においては大体終わっていると聞いています。市教育委員会はどのように考えているか伺う。</p>	教育委員長	教育長
2 地方交付税の階段落ちについて	<p>平成27年度から、地方交付税が減額され、非常に厳しい財政状況になると想定されているが、市長の見解を伺う。</p> <p>① 選択と集中、どの分野をどのように考えているのか伺う。</p> <p>② 職員数はどのように推移するのか伺う。</p> <p>③ 道路整備等についてはどのように考えているのか伺う。</p>	市長	市長

14番 高山豊吉 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 技術職員の採用について	① 現在の土木技術職員の状況はどうなっているのか。 ② 合併10周年を迎える、この時期からでも計画的な土木技術職員の採用を行うべきではないか。 ③ 施設維持管理職員の状況はどうなっているのか。 ④ 今後の施設の維持管理体制については、どう考えているのか。	市長	市長
2 土砂災害について	豊後大野市の土砂災害危険箇所の対策はどうなっているのか。	市長	総務課長

7番 神志那文寛 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
<p>1 「改定」介護保険、市は住民を守る防波堤に</p>	<p>安倍政権は、先の通常国会で各野党が反対する中、「医療・介護綜合法」の可決を強行しました。この法律は、公的介護・医療保障を土台から掘り崩す大改悪法です。</p> <p>法案は成立しましたが、市は高齢者や家族の暮らしと権利を守る立場、住民を守る立場に立つことを求めます。</p> <p>この立場から、「改定」介護保険と4月からの第6期介護保険事業計画について、以下お尋ねします。</p> <p>① 要支援者（1・2）への訪問介護と通所介護を市の地域支援事業へと移行することについては、「安上がりサービスへの置き換え」「要介護認定の水際作戦」「強引な卒業」が増えることが危惧されるが、本市の対応は。</p> <p>② 2015年8月からの、介護保険利用料への2割負担の導入（所得160万円以上）と、低所得者が介護施設を利用する場合の「補足給付」の縮小・打ち切りについて、対応と見解は。</p> <p>③ 豊後大野市内では、特別養護老人ホームへの入所待機者が686人いる中で、「綜合法」では、2015年度から特養への入所は原則「要介護3」以上としている。さらに入所が出来ない方が増えることになると思うが、これについての対応を伺う。</p> <p>また、このまま実施の場合、入所している要介護2以下の方はどうなるのか。</p> <p>④ 2012年度からの3年間（第5期）の介護保険は、比較的安定的に推移してきたものと思う。この経過を踏まえれば、現在、月額基準額6,250円となっている保険料について、来年度からの3年間（第6期）は引下げも検討すべきではないか。</p> <p>さらに「綜合法」では、2015年度から保険料の多段階化により、低所得者の保険料は軽減となる一方で、課税者については所得によっては増額となるようだ。この増額となる部分については、独自の施策で現状を維持すべきではないか。</p>	<p>市長</p>	<p>市長</p>